

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和5年8月17日(2023.8.17)

【公開番号】特開2023-26678(P2023-26678A)
【公開日】令和5年2月24日(2023.2.24)
【年通号数】公開公報(特許)2023-036
【出願番号】特願2023-1273(P2023-1273)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年8月8日(2023.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定条件が成立したことに伴い、遊技者に有益となる特別遊技の抽選を行う遊技制御手段を備える遊技機であって、

前記遊技制御手段は、

遊技に関連する情報を記憶可能な第1の記憶領域と、前記第1の記憶領域とは異なる第2の記憶領域とを少なくとも有する記憶手段と、

遊技の進行を制御するための第1プログラムと、遊技の進行を制御する以外のための第2プログラムと、を含み、

30

前記第2プログラムは、遊技の進行を制御する以外のためのプログラムとして、少なくとも遊技機の性能を算出して表示するためプログラムを含み、

前記第1プログラムを記憶する領域と前記第2プログラムを記憶する領域との間には、未使用領域として16バイト以上の領域が設けられ、

前記第1プログラムでは、前記第1の記憶領域に記憶された情報を参照及び更新可能とするものの、前記第2の記憶領域を更新不能とし、

前記第2プログラムでは、前記第2の記憶領域に記憶された情報を参照及び更新可能とするものの、前記第1の記憶領域を更新不能とし、

前記遊技制御手段は、停電を検出すると停電処理を実行し、前記停電処理が実行されたこと示す停電実行情報を前記記憶手段の前記第1の記憶領域及び前記第2の記憶領域のそれぞれに対して設定する

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかし、遊技機では、遊技制御プログラムなどの、遊技者が獲得する利益に直結する遊技制御領域内の処理と、それ以外の処理（例えば、遊技機の性能を計算する処理）とが明

50

確に区別されており、これらの処理で使用される記憶領域も二つに分かれている。しかし、停電検出時の処理が正常に実行完了していることを示す停電処理完了フラグが遊技制御領域内と遊技制御領域外で参照可能なように記録されていなかった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、遊技制御領域内の処理でも遊技制御領域外の処理でも、正しく停電処理完了フラグを参照できる遊技機の提供を課題とする。

10

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、所定条件が成立したことに伴い、遊技者に有益となる特別遊技の抽選を行う遊技制御手段を備える遊技機であって、前記遊技制御手段は、遊技に関連する情報を記憶可能な第1の記憶領域と、前記第1の記憶領域とは異なる第2の記憶領域とを少なくとも有する記憶手段と、遊技の進行を制御するための第1プログラムと、遊技の進行を制御する以外のための第2プログラムと、を含み、前記第2プログラムは、遊技の進行を制御する以外のためのプログラムとして、少なくとも遊技機の性能を算出して表示するためプログラムを含み、前記第1プログラムを記憶する領域と前記第2プログラムを記憶する領域との間には、未使用領域として16バイト以上の領域が設けられ、前記第1プログラムでは、前記第1の記憶領域に記憶された情報を参照及び更新可能とするものの、前記第2の記憶領域を更新不能とし、前記第2プログラムでは、前記第2の記憶領域に記憶された情報を参照及び更新可能とするものの、前記第1の記憶領域を更新不能とし、前記遊技制御手段は、停電を検出すると停電処理を実行し、前記停電処理が実行されたこと示す停電実行情報を前記記憶手段の前記第1の記憶領域及び前記第2の記憶領域のそれぞれに対して設定することを特徴とする遊技機。

20

30

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記構成では、前記遊技制御手段は、停電実行情報を記憶手段の第1の記憶領域及び第2の記憶領域のそれぞれに対して設定するので、第1の記憶領域を用いて実行される処理と第2の記憶領域を用いて実行される処理の両方において停電実行情報を参照できるようになり、停電処理が実行されているかの誤判定を抑制できる。特に、主制御MPU1311は、遊技制御領域内と遊技制御領域外で区別して処理を実行することから、遊技制御領域内の処理でも遊技制御領域外の処理でも停電実行情報を参照でき、停電処理が正常に行われたかを判定できる。

40